

西南風

幸先良し!

今年の桜は、折からの雨にたたき落とされるように、雨中はらはらと次々散っていききました。それでもしぶとい花はあるもので、梢にしがみついた始業式、入学式に文字通り華を添えました。桜にしぶとさを感じたのは初めてです。

令和六年度の初日、雨模様とはいえみずみずしい葉桜を仰ぎ見ながら子どもたちの登校を迎える時、「いよいよ始まったな」とわくわくしました。子どもたちは一つ進級したことで、二週間前よりもちよっぴり胸を張っています。ただ、胸の内は新しいクラスの友達や担任へのドキドキとワクワクとハラハラをなげまぜにした表情をしていました。それでも、新しい学年の昇降口で、新しい学級の名簿を見て、友達と改めて出会うワイワイガヤガヤと活気に満ちていました。最近恒例となってきたアフロ看板ランナー（子どもたちには「オジ年生」と呼ばれておられるようです）も、雨にもかかわらずこの日も颯爽と現れ、新学期を盛り上げました。



就任式・始業式では新しく十九名の先生方を迎えて、子どもたちはその後の担任発表で驚きと喜びの歓声を上げながら、我々職員はそんな子どもたちの様子を見ながら、先月末の卒業生や異動・退職職員との別れの寂しさは何だったんだというぐらいい、あっさりとした気持ちで切り替わったのでした。始業式での校長の話は、つい二週間前の修了式で話したことの確認が主な内容でした。「覚悟・我慢・勇気・田中」の四つのキーワードを再度確認しながら、新二・六年生に向けて進級の心構え

えを説いたのです。

改めまして、私本校校長二年目となります。田中宏和と申します。どうぞよろしくお願ひします。昨年の始業式で、大谷翔平になりすぎたから、早いもので一年が過ぎました。昨年はずいぶん翔平さんに助けられた気がします。二年目にあたり、そろそろ「大谷」ではなく「田中」で勝負せねばということ、キーワードには「田中」も入れておいたものでした。

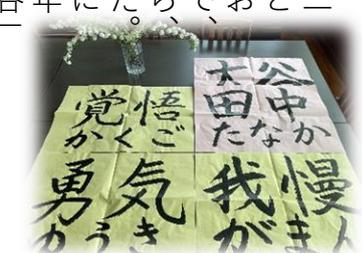
そうして迎えた翌日の入学式。早朝はぐずついていた空模様は徐々に晴れ、さわやかな日差しと澄んだ風が心地よい最高の朝を迎えました。これは今年の新入生を象徴するものだと思います。「ご入学おめでとうございます」の言葉に、「

「ありがたいとおごさいます!」と、何度返したことでしよう。大きな声で言えば、大きく返してくれました。優しく言えばやさしく返してくれました。そんな新入生の素直で素敵な反応がとても良かったと思います。

そんな素敵な一年生を、「守る・伸ばす」の全職員と、「覚悟・我慢・勇気」の先輩としての心構えをもつ二年生以上の子どもたちとともに、大切にしていきたいです。

今後、この学校だよりを通じて、できるだけ学校の様子を伝えてまいります。ただし、私校長の目を通しての内容になりますことをご容赦ください。紙媒体配付はしませんので、スマホではピンチアウトしてご覧ください。また、学校HPにも掲載します。

昨日の朝、グラウンドで四つ葉のクローバーを見つけました。今年もいことがありそうな気がします。聞けば、家にはあと二つあるそうです。間違いなくいいことありますね。幸先良し!



校長の覚悟も見え (隠れ) するキーワード